



わがまち便り

令和8年2月号

2月23日（月）午後2時から4時にかけて、高井戸に有ります高齢者活動支援センターでは南ブロック主催の交流イベントがにぎやかに開催されました。当日は開始前から多くの方が来場され、受付では整理券が配付されるほどの盛況ぶりでした。久しぶりの再会を喜ぶ声があちこちで聞こえ、会場は早くから温かな空気に包まれていました。

最初のプログラムはわがまち一番体操（準備体操/ボール体操/筋力アップ体操）に加え、サザエさんの音楽に合わせたリズム体操も行われました。おなじみの軽快なメロディーが流れると、自然と体が動き、笑顔が広がり、会場全体が一気に和やかな雰囲気。懐かしさと楽しさが相まって、心がほぐれていくような時間となりました。

続いて披露されたマジックでは、色鮮やかな布やカードが次々と姿を変え、驚きと拍手、笑いが絶えませんでした。思わず身を乗り出して見入る姿があちこちで見られ、会場が一体となって盛り上がりました。

後半は歌声喫茶の時間となり、懐かしい曲を中心に、ブロック長のギター生演奏の柔らかな音色に合わせて皆さんと一緒に8曲を歌い上げました。車椅子で娘さんと来場された方は、曲が始まると満面の笑みで両手いっぱい手を叩き、嬉しさのあまり涙を浮かべながら喜んでおられました。その姿はとても印象深く、今も心に温かく響いています。

締めくくりは、参加者全員で「故郷」を手話で表現しながら歌うひととき。手の動きに込められた思いが重なり合い、会場全体が優しい一体感に包まれました。心に残る、あたたかな午後のイベントとなりました。

